

# 令和6年度 第1回 犬山市図書館協議会 議事要旨

## 1 開催日時

令和6年7月25日（木） 午後2時から午後3時まで

## 2 開催場所

犬山市立図書館2階 視聴覚室

## 3 出席した者の氏名

- (1) 委員 古川委員、大藪委員、森岡委員、石田委員、富岡委員、小幡委員
- (2) 事務局 滝教育長、中村教育部長、大黒文化推進課長、高木課長補佐（図書館長）、牧野主事、南主事

## 4 傍聴人の数

0人

## 5 内容

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 辞令伝達
- (3) 会長の選任

会長は富岡委員に決定した。

議事録の署名人は会長から森岡委員及び小幡委員が指名された。

### (4) 報告事項

#### ① 令和5年度図書館事業報告について

- ・2024年度（令和6年度）版図書館年報（資料1）

事務局より資料1を用いて説明を行った。

質問事項なし。

#### ② 令和6年度図書館事業計画について

- ・令和6年度 図書館事業（資料2）
- ・令和6年度 犬山市立図書館図書購入計画（資料3）
- ・令和6年度 予算説明書（図書館本館）（資料4）
- ・令和6年度 予算説明書（楽田ふれあい図書館）（資料5）

事務局より資料2から5を用いて説明を行った。

#### 【以下、発言内容】

古川委員：楽田ふれあい図書館のほうで、今年度は何か計画が立っているのか。

事務局：今年度は夏休みに入ってすぐに「オリジナルまが玉作り体験」を行った。それ以外にも「百人一首で遊ぼう」や、調整中ではあ

るが朗読会などを予定している。

古川委員：承知した。

③ 中学生向けブックガイドについて

- ・中学生向けブックガイド（資料6）

事務局より資料6を用いて説明を行った。

【以下、発言内容】

小幡委員：今回の中学生向けブックガイドと関係は無いが、既存の小学生、乳幼児向けのブックガイドの中に誤りが2、3点ある。例えば「長くつ下のピッピ」の紹介のところで、新訳版が紹介されているのに、表紙画像が旧訳の画像になっている。また、言葉の誤りもいくつかある。中学生向けブックガイドについてはとても素敵だと思うのでぜひやってほしい。

事務局：記載誤りの詳細についてはまた改めて教えていただきたい。

④ 館内改修について

- ・LDコーナー改修工事（資料7）
- ・開架室閲覧用ソファのリニューアル（資料8）

事務局より資料7から8を用いて説明を行った。

質問事項なし。

(5) 協議事項

① 予約資料受取ロッカーについて

- ・図書館ICT化事業「予約資料受取ロッカー」（資料9）

事務局より資料9を用いて説明を行った。

【以下、発言内容】

大藪委員：返却ポストについては、このロッカーで借りたもののみ返却できるのか、それとも通常通り図書館で借りたものも返却できるのか。

事務局：通常通り図書館から借りたものであっても駅の返却ポストに入れられる形にしていく予定。

大藪委員：そうすると相当な量が返却される可能性もあるのではないか。

事務局：こまめに回収に行く必要が出てくると思う。実際に運用してみてもどれくらいのペースで回収するかは決めていく。

古川委員：以前、鶉沼駅の連絡橋のところに各務原市の返却BOXがあったが最近閉じてしまった。なぜ閉じてしまったのかな、と思っている。各務原市は返却のみだったが、こちらは返却と貸出がドッキングしているのか。

事務局：予約資料受取ロッカーと返却ポスト、それぞれ独立したものを設置する予定。

古川委員：別々のものを一緒に設置するということか。

事務局：ご発言のとおりである。

古川委員：予約資料受取ロッカーは個々に分かれているから、そのロッカ

一の分だけしか受け取れないのか。

事務局：受取はロッカーの数だけである。

古川委員：図書館の壁面にある早朝とかに使える返却口はどれぐらい利用されているのか。あまり利用されていないのか。

事務局：図書館が開館しているときは中のカウンターで返却してもらうため閉じているが、休館日明けなどは数が多くなっており、多くて100冊程度は返却されている。

古川委員：了承した。

富岡委員：こういうシステムがあることを始めて知った。他市町に実施のメリット・デメリットは聞いたのか。

事務局：今後、順次聞き取りを行っていく予定である。

委員：予約資料受取ロッカーについて、事務局の示した案を説明し、承認。

## ② 施設の改修工事について

・図書館営繕事業「図書館トイレ等改修工事」（資料10）

事務局より資料10を用いて説明を行った。

質問事項なし。

委員：施設の改修工事について、事務局の示した案を説明し、承認。

## (6) その他

小幡委員：11月に斎藤惇夫さんが来られるとのことだが、児童文学界では有名な方なのでこぞって集まりたいファンも多いのではないかと思う。なので、定員60名以上集まるのではないか。もし、犬山市外の方も受け入れられるのならどんどん宣伝するが、これ以上定員は増やせないのか。

事務局：学習室で行うので、入れて60名までである。

小幡委員：では、あまり広めないほうがいいか。

古川委員：犬山の人たちは正直「斎藤惇夫」という人物をあまり知らない。文庫の人ですら。作品名を言って初めて分かるレベル。だが、あれだけの人物を呼ぶのに30～40名ではもったいない。なので、もっとオンライン等で宣伝したいくらい。一般の人には知名度は無いと思ったほうがいい。なので、反対に小幡先生には岡崎のほうで宣伝お願いしたいくらい。

小幡委員：いまの古川先生の話聞いて納得した。市外・県外から集まってちょうどいいくらいかと思う。

古川委員：人集めは本当に大変なので、図書館側もしっかり宣伝してほしい。

小幡委員：もう1つ気になるのが、対象が「小学生以上」となっているがこれは斎藤先生からの要望か。

古川委員：どなたでも大丈夫だが、内容による。ただ、文庫の小学生には斎藤先生のファンが多いので、小学生は対象で問題ないと思う。

小幡委員：以前、藤田先生の講演のときに同じように小学生以上が申込の対象になっていたが、当日に先生が「今日の話は小学生には難しいかも…」と仰られていたことがあった。事務局と講師側で食い違いがあるように感じた。なので、事前にそのあたりをしっかりと調整してほしい。

事務局：承知した。

次回、2月または3月に開催。

令和6年9月20日

上記議事内容に相違ないことを確認する。

(署名) \_\_\_\_\_

(署名) \_\_\_\_\_